

次期総合5か年計画の全体構成素案

計画の位置付け

- 今後の県づくりの方向性を県民と共有し、共に取り組むための、いわば共創型の総合計画
- 概ね2035年の長野県の将来像を展望し、これを実現するための今後の5年間(2023～2027年度)の行動計画
- 県まち・ひと・しごと創生総合戦略
- SDGsの達成に寄与するもの

現状と課題

長野県を取り巻く状況

- 少子化と人口減少の急速な進行
- 東京一極集中から地方分散への動き
- 気候変動への対応や持続可能な社会の実現に向けた動き
- 自然災害や感染症などの脅威
- 激変する国際情勢
- 社会におけるデジタル化の急速な進展
- 社会に存在する様々な格差
- ライフスタイルや価値観の多様化

長野県の特徴

- 学びの風土と自主自立の県民性
- 自立分散型の県土
- 変化に富んだ豊かな自然環境
- 多様な文化と豊かな交流
- 大都市圏からのアクセスの良さ
- 全国トップレベルの健康長寿
- 地域で育まれてきた特色ある産業

政策構築・推進に
当たったの
共通視点「長野県を取り巻く状況」
を踏まえた視点

- 少子化と人口減少に立ち向かう
- 社会的共通資本を維持・発展させる
- 農山村地域を持続的に発展させる
- デジタル技術を徹底活用する
- 環境制約をチャンスにする
- 誰にでも居場所と出番がある社会をつくる
- 災害や新型コロナウイルス感染症の経験を生かす
- 世界とのつながりを常に意識する

「長野県の特徴」
を踏まえた視点

- 学びと自治の力で未来を切り拓く
- 信州の強み・地域の個性を生かす

計画体系

基本目標

(暫定仮案)
確かな暮らしを守り、ゆたかな信州を創る

	政策の柱(めざす姿)	施策の例	地域計画	
戦略的なプログラム	施策の総合的展開	1 持続可能で安定した暮らしを守る (めざす姿) 脱炭素社会の実現に向けた取組が着実に進み、生態系や水大気などの地球環境が保全されるとともに、頻発化・激甚化する自然災害から県民の生命・財産が守られている。 また、交通や水道などの社会的なインフラが維持されるとともに、充実した医療・介護サービスが提供され、犯罪や交通事故等の少ない社会で、誰もが安心して日常生活を送っている。	・持続可能な脱炭素社会の創出 ・人と自然との共生社会の実現 ・良好な生活環境保全の推進 ・災害に強い県づくりの推進 ・持続可能なインフラ管理体制の構築 ・確かな暮らしを支える持続可能な地域公共交通の確保 ・健康づくりの推進 ・充実した医療・介護提供体制の構築 ・県民生活の安全確保 など	・佐久 ・上田 ・諏訪 ・上伊那 ・南信州 ・木曾 ・松本 ・北アルプス ・長野 ・北信
		2 創造的で強靱な産業を育てる (めざす姿) 成長産業の集積やリスキリングなどによる産業人材の育成・確保等が進み、産業の生産性が向上するとともに、成長と分配が好循環し、県民所得が向上している。 また、循環経済・地域内経済循環への転換が図られるとともに、生活必需産業の担い手が安定的に確保され、地域に根差した産業が活性化している。	・成長産業の創出・振興 ・起業・スタートアップの増加・育成 ・稼ぐ力とブランド力の向上 ・産業人材の育成・確保 ・循環経済への転換の挑戦 ・地域内経済循環の推進 ・生活必需産業における担い手確保の推進 ・地域に根差した産業の活力向上 など	地域のめざす姿 地域重点政策 ・現状と課題 ・取組内容 ・評価指標
		3 快適でゆとりのある暮らしを創造する (めざす姿) まちの緑化、自然を身近に感じる暮らしや、生活における利用者目線でのデジタル化が進むとともに、県民が様々な場面で文化芸術やスポーツに親しみ人間力を育むことで、心豊かでゆとりのある暮らしを送っている。 また、地域の関係者が自主的・主体的に地域づくりに取り組み、地域が持続的に発展している。 さらに、県外・海外からの観光のほか、県内への移住・多様ななかかわりが活発に行われ、住む人も訪れる人も長野県を楽しんでいる。	・地域の特徴と自然の恵みを生かした地域デザインの推進 ・デジタルの力を活用した便利で快適な暮らしの実現 ・持続可能な地域づくりの推進 ・本州中央部広域交流圏の形成 ・移住・交流・多様ななかかわりの展開 ・山岳高原観光地域づくりの推進 ・文化芸術の振興と文化芸術の力の様々な分野への活用 ・「信州やまなみ国スポ・全障スポ」の開催を契機としたスポーツ振興の推進 など	
		4 多様性が尊重される温かく公正な社会をつくる (めざす姿) すべての若者の結婚・出産・子育ての希望が実現し、出生数の減少に歯止めがかかっている。 また、年齢、性別、国籍、障がいの有無などにかかわらず、誰もが個性や能力を発揮するとともに、ライフスタイルに合った働き方を選び、公正な待遇が確保され、自分らしく生きることができている。	・若者の結婚・出産・子育ての希望実現 ・子ども・若者が夢を持てる社会の創造 ・年齢、性別、国籍、障がいの有無や家族の経済状況等が障壁とならない公正な社会の創出 ・働き方改革の推進と就労支援の強化 ・高齢者の活躍の支援 など	
		5 誰もが主体的に学び続けられる社会をつくる (めざす姿) すべての児童生徒、教職員にとって居心地のよい学校の中で、一人ひとりが持つ「好奇心」や「探求心」を伸ばす中で、能力が引き出され、自分にとっての幸福を実現できる学びに取り組んでいる。 また、学校だけでなく、学校外にも多様な学びの機会が確保され、子どもたちが個別最適に学べるとともに、リカレント教育やリスキリングなど生涯にわたって学ぶことができる環境が整っている。	・一人ひとりが自分にとっての幸福を実現できる学びの推進 ・高校改革の推進や特色ある学びの振興 ・高等教育の振興 ・一人の子どもも取り残されない「多様性を包み込む」学びの環境の創出 ・生涯にわたり学び合える地域拠点の創出 など	

計画推進の基本姿勢

- 県民とのパートナーシップによる行政運営を推進する
 ・県民起点の意識づけを徹底する
 ・主体性とホスピタリティを持ち、スピーディーに行動する
 ・県民参加による対話型の行政運営を推進する
 ・多様なステークホルダーとの共創を推進する
- 市町村等との連携を推進する
- 地方分権の推進に取り組む

しあわせ信州創造プラン2.0 ～学びと自治の力で拓く新時代～（長野県総合5か年計画）の組立て

はじめに

✓計画策定の趣旨

私たちを取り巻く環境が大きく加速度的に変化する中、新しい時代にふさわしい社会の仕組みを創造していかなければならない。こうした潮流を捉え、夢や希望の実現に取り組んでいくため、県づくりの方向性を明らかにする。

✓計画の位置づけ

- ▶ 概ね2030年の長野県の将来像を展望し、それを実現するための今後5年間の行動計画
- ▶ 信州創生戦略を継承
- ▶ SDGs(持続可能な開発目標)の達成に寄与

✓計画の期間

2018～2022年度までの5年間

✓計画の進捗管理

- ▶ PDCAサイクルにより実効性を高める。
- ▶ 総合計画審議会での進捗管理実施、県議会報告、県民への公表により評価の客観性・妥当性を担保し、説明責任を果たす。

第1編 現状と課題

✓長野県を取り巻く状況

- ▶ 急激な人口減少と東京圏への人口流出
- ▶ 技術革新とグローバル化の急速な進展
- ▶ 人生100年時代へ
- ▶ 貧困・格差の拡大
- ▶ 東京オリンピック・パラリンピックの開催
- ▶ 広域交通ネットワークの充実
- ▶ SDGsなど持続可能な社会をめざす気運の高まり

✓長野県の特徴

- ▶ 豊かな自然環境
- ▶ 大都市圏からのアクセスの良
- ▶ 多様な個性を持つ地域
- ▶ 全国トップレベルの健康長寿
- ▶ 自主自立の県民性

✓これまでの取組の成果

本計画に引き継がれる「しあわせ信州創造プラン(H25～29年度)」と「信州創生戦略」の結果や、これまでの取組成果を踏まえ、事業の改善や政策の構築に活かす。

第2編 基本目標

確かな暮らしが営まれる美しい信州 ～学びと自治の力で拓く新時代～

しあわせ信州創造プラン(H25～29年度)の基本目標である「確かな暮らしが営まれる美しい信州」を継承しつつ、未来を志向する計画とする。

第3編 政策推進の基本方針とめざす姿

「学びと自治の力」が推進エンジンとなって全体を牽引し、クリエイティブな社会、安心で希望あふれる社会をめざし、効果的に政策を展開していく。

学びの県づくり

子どもから大人まですべての県民が主体的に学び、個々の持つ能力を社会の中で発揮している「学びの県」をめざします。

＜クリエイティブな社会をつくる～産業や地域のイノベーションを促進する～＞

産業の生産性が高い県づくり

時代や環境の変化に柔軟に対応する産業が持続的に発展し、地域の活力を生み出し、県民の生活を支えている「産業の生産性が高い県」をめざします。

【重点目標】
付加価値を高め、経済成長を実現

県民の豊かさ全国トップレベルを維持

人口の社会増を実現

インバウンド需要を取り込み観光消費額を増加

人をひきつける快適な県づくり

豊かな自然・文化と利便性をあわせもつ質の高い生活を送り、国内外と活発に交流をしながら人生を楽しむことができる「人をひきつける快適な県」をめざします。

＜安心で希望あふれる社会をつくる～県民の思いに寄り添う～＞

いのちを守り育む県づくり

自らの健康と豊かな自然環境を守り、安心できる暮らしを次世代に継承している「いのちを守り育む県」をめざします。

【重点目標】
2025年に合計特殊出生率を県民希望出生率1.84に

さまざまな人の労働参加を全国トップに

健康長寿日本一を維持

再生可能エネルギー100%地域をめざし自給率を上昇

誰にでも居場所と出番がある県づくり

誰もが等しく社会からその存在と役割を認められ、自らの可能性に挑戦し、自分らしく生きている「誰にでも居場所と出番がある県」をめざします。

自治の力みなぎる県づくり

多様な主体が協働しながら地域の課題解決に自ら取り組み、県全体の魅力を高めている「自治の力みなぎる県」をめざします。

「学びと自治の力」が推進エンジンとなって政策を展開

第4編 総合的に展開する重点政策

6つの「政策推進の基本方針」ごとに、計画期間中に取り組む政策を整理。

1 学びの県づくり

- 1-1 生きる力と創造性を育む教育の推進
- 1-2 地域とともに取り組む楽しい学校づくり
- 1-3 高等教育の振興による知の拠点づくり
- 1-4 生涯を通じて学べる環境の整備

2 産業の生産性が高い県づくり

- 2-1 革新力に富んだ産業の創出・育成
- 2-2 地域内経済循環の促進
- 2-3 海外との未来志向の連携
- 2-4 収益性と創造性の高い農林業の推進
- 2-5 地域に根差した産業の振興
- 2-6 郷学郷就の産業人材育成・確保

3 人をひきつける快適な県づくり

- 3-1 信州と関わりを持つ「つながり人口」の拡大
- 3-2 世界を魅了するしあわせ観光地域づくり
- 3-3 心豊かな暮らしを実現する文化芸術の振興
- 3-4 2027年国民体育大会・全国障害者スポーツ大会に向けたスポーツ振興
- 3-5 市街地の活性化と快適な生活空間の創造
- 3-6 中山間地域での暮らしの価値の再発見
- 3-7 先端技術の積極的な活用・導入
- 3-8 生活を支える地域交通の確保
- 3-9 本州中央部広域交流圏の形成

4 いのちを守り育む県づくり

- 4-1 県土の強靱化
- 4-2 ライフステージに応じた健康づくりの支援
- 4-3 医療・介護提供体制の充実
- 4-4 生命・生活リスクの軽減
- 4-5 地球環境への貢献

5 誰にでも居場所と出番がある県づくり

- 5-1 多様性を尊重する共生社会づくり
- 5-2 女性が輝く社会づくり
- 5-3 人生二毛作社会の実現
- 5-4 若者のライフデザインの希望実現
- 5-5 子ども・若者が夢を持てる社会づくり

6 自治の力みなぎる県づくり

- 6-1 個性豊かな地域づくりの推進
- 6-2 信州のブランド力向上と発信
- 6-3 地域振興局を核とした地域課題の解決

第5編 地域計画

広域圏ごとに独自性を発揮した地域計画を策定。

佐久地域

佐久の健康長寿や多様な産業等の地域の特長(魅力)を活かすとともに、地域外との交流を拡げ、住んでよし、訪れてよし、の地域をめざします

木曾地域

人口減少下でも「木曾らしい」上質な生活が安全に営め、自己実現ができる地域であり続けるために

上田地域

多様な人材を呼び込み、人の力で輝く「上田地域」の創造

松本地域

美しい信州の中心に世界の人々が集い、賑わいあふれ、住みやすい松本地域をめざします

諏訪地域

諏訪湖や八ヶ岳が育む「豊かな自然」と地域の強みを活かした「競争力の高い産業」が共存する地域の実現

北アルプス地域

北アルプス地域に「暮らす人」誰もが自信と誇りを持ち、「訪れる人」すべてが感動と喜びを実感できる地域をめざします

上伊那地域

リニアの時代へ 世界とつながり豊かな暮らしが営まれる伊那谷(INA Valley)

長野地域

「活力あふれ・人が集い・文化薫る」中核的都市圏の形成へ

南信州地域

伝統と最先端が響き合う「リニア新時代」のフロンティア～南信州～

北信地域

雪とともに育む 豊かな故郷 北信州

第6編 チャレンジプロジェクト (PJ=プロジェクト)

2030年のあるべき姿を見据え、敢えて難しい課題に挑戦。実行しながら考え、深化する成長型のプロジェクト。

- 人生を豊かにする創造的な「学び」の基盤づくりPJ
- 共創を促進するイノベーション産業圏づくりPJ
- 未来に続く魅力あるまちづくりPJ
- 美しく豊かな木と森の文化の再生・創造PJ
- 安心できる持続可能な医療・介護の構築PJ
- 人生のマルチステージ時代における多様な生き方の支援PJ

第7編 「学ぶ県組織」への転換

- ✓ 県職員一人ひとりが、「学びと自治の実践者」として新たな知識や技術を主体的に学び続ける
- ✓ 職員の能力を最大限に活かす機能的な組織として、「学ぶ県組織」へと転換
 - ▶ 目的達成力の高い機能的組織構造の実現
 - ▶ 俊敏で的確な行動のための組織運営システムの構築
 - ▶ 共創を推進する組織能力の強化
 - ▶ 外部環境の変化を自ら分析し、自律的に行動できる人づくりの推進
 - ▶ 県民起点を徹底する組織風土の形成

現行計画と次期計画の比較について

現行計画		次期計画（案）	
項目	内容	項目	内容
現状と課題	取り巻く状況 ①急激な人口減少と東京圏への人口流出 ②技術革新とグローバル化の急速な進展 ③人生100年時代へ ④貧困・格差の拡大 ⑤東京オリンピック・パラリンピックの開催 ⑥広域交通ネットワークの充実 ⑦SDG s など持続可能な社会をめざす気運の高まり	現状と課題	取り巻く状況 ①少子化と人口減少の急速な進行 ②東京一極集中から地方分散への動き ③気候変動への対応や持続可能な社会の実現に向けた動き ④自然災害や感染症などの脅威 ⑤激変する国際情勢 ⑥社会におけるデジタル化の急速な進展 ⑦社会に存在する様々な格差 ⑧ライフスタイルや価値観の多様化
	特性 ①豊かな自然環境 ②大都市圏からのアクセスの良さ ③多様な個性を持つ地域 ④全国トップレベルの健康長寿 ⑤自主自立の県民性		特性 ①学びの風土と自主自立の県民性 ②自立分散型の県土 ③変化に富んだ豊かな自然環境 ④多様な文化と豊かな交流 ⑤大都市圏からのアクセスの良さ ⑥全国トップレベルの健康長寿 ⑦地域で育まれてきた特色ある産業
基本目標	確かな暮らしが営まれる美しい信州 ～学びと自治の力で拓く新時代～	基本目標	(暫定仮案) 確かな暮らしを守り、ゆたかな信州を創る
政策推進の基本方針とめざす姿	共通視点 人口減少社会に立ち向かう 県民起点で現場に立脚する 先端技術を活用する 様々な主体と連携する グローバルな視点を意識する	政策構築・推進に当たっての共通視点 ①少子化と人口減少に立ち向かう ②社会的共通資本を維持・発展させる ③農山村地域を持続的に発展させる ④デジタル技術を徹底活用する ⑤環境制約をチャンスにする ⑥誰にでも居場所と出番がある社会をつくる ⑦災害や新型コロナウイルス感染症の経験を生かす ⑧世界とのつながりを常に意識する ①学びと自治の力で未来を切り拓く ②信州の強み・地域の個性を生かす	めざす姿 1 持続可能で安定した暮らしを守る 2 創造的で強靱な産業を育てる 3 快適でゆとりのある暮らしを創造する 4 多様性が尊重される温かく公正な社会をつくる 5 誰もが主体的に学び続けられる社会をつくる
	政策推進の基本方針・めざす姿 1 学びの県づくり 2 産業の生産性が高い県づくり 3 人をひきつける快適な県づくり 4 いのちを守り育む県づくり 5 誰にでも居場所と出番がある県づくり 6 自治の力みなぎる県づくり		
重点目標	8の重点目標	社会経済レベルの指標	
		戦略的なプログラム	
		施策の総合的展開	32の施策－主な事業
		地域計画	10広域圏ごと策定
総合的に展開する重点政策	32の重点政策－主な施策	計画推進の基本姿勢	1 県民とのパートナーシップによる行政運営を推進する ・県民起点の意識づけを徹底する ・主体性とホスピタリティを持ち、スピーディーに行動する ・県民参加による対話型の行政運営を推進する ・多様なステークホルダーとの共創を推進する 2 市町村等との連携を推進する 3 地方分権の推進に取り組む
地域計画	10広域圏ごと策定		
チャレンジプロジェクト	①人生を豊かにする創造的な「学び」の基盤づくりPJ ②共創を促進するイノベーターな産業圏づくりPJ ③未来に続く魅力あるまちづくりPJ ④美しく豊かな木と森の文化の再生・創造PJ ⑤安心できる持続可能な医療・介護の構築PJ ⑥人生のマルチステージ時代における多様な生き方の支援PJ		
「学ぶ県組織」への転換			

内容を充実

内容を充実

項目として
特出し
内容を充実項目として
特出し新規
(検討中)

新たな「行政・財政改革方針」に記載